

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	生活環境課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力
分野別方針	(5) 生物多様性の保全
実施計画事業	1) 美化推進・動植物保全事業 (No.38)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	美化推進事業 (ゴミゼロキャンペーン)	47.2%	A
02	動物の保護管理事業	63.4%	A
03	公害防止対策事業 (河川水質・地域要望環境測定)	61.2%	A
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、団体、町民等と連携して事業を実施する必要がある。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)	A
	説明	県、団体、町民等と連携して530(ゴミゼロ)キャンペーンを実施した。 狂犬病予防法及び鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、事業を実施した。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	美化推進事業については、環境意識の高揚を図るため、継続して実施する必要がある。 動物の保護管理事業は、狂犬病予防法及び鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、事業を実施する必要がある。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	住みよい町づくりのため、良好な住環境の維持やペット及び野生動物の適正な管理は必要である。						